

【テーマ】「オンライン授業におけるアクティブラーニングと成績評価」

【主催】教育システム分科会

活動報告

日時：2020年10月30日（金）15:00 -17:00
場所：オンライン分科会：自席参加
出席者：30名

1. 研究内容

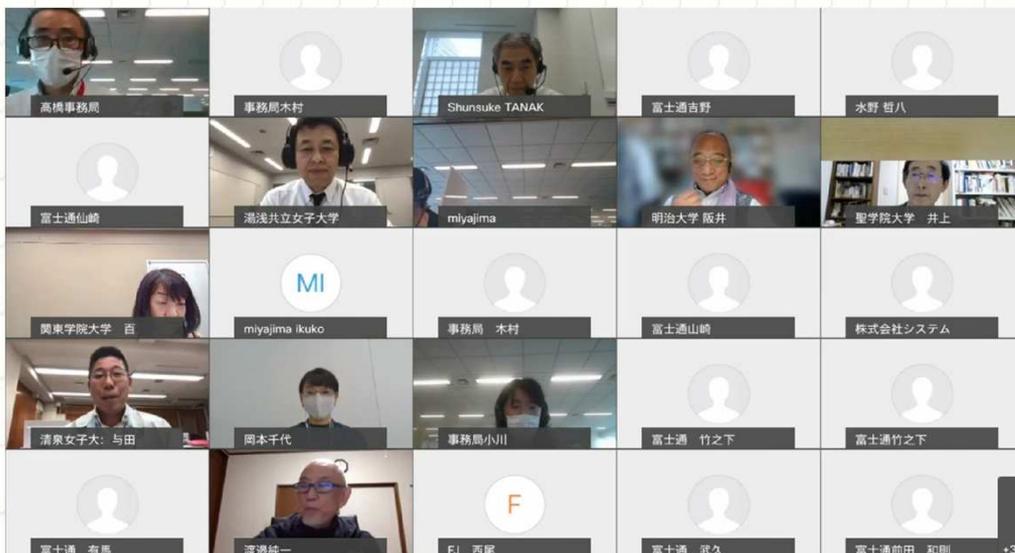
今回、教育システム分科会では「オンライン授業におけるアクティブラーニングと成績評価」をテーマとして、オンライン分科会を開催しました。

はじめに阪井先生（明治大学法学部教授/私立大学キャンパスシステム研究会会長）よりテーマに関するご紹介をいただき、後半においては各グループにわかれての情報交換会（意見交換会）を行いました。

2. スケジュール

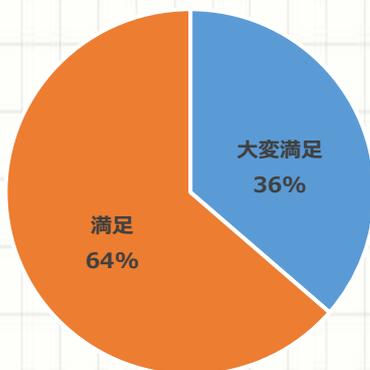
15:00～15:05	分科会開始 ・2020年度活動について ・事務連絡
15:05～15:40	○開催テーマに関する実践事例のご紹介 阪井和男様 （明治大学法学部教授/私立大学キャンパスシステム研究会会長）
15:40～17:00	○情報交換会（意見交換会） ・グループに分かれての情報交換 ↓ ・全体での情報共有とまとめ
17:00	分科会終了

【オンライン分科会の様子】



3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください

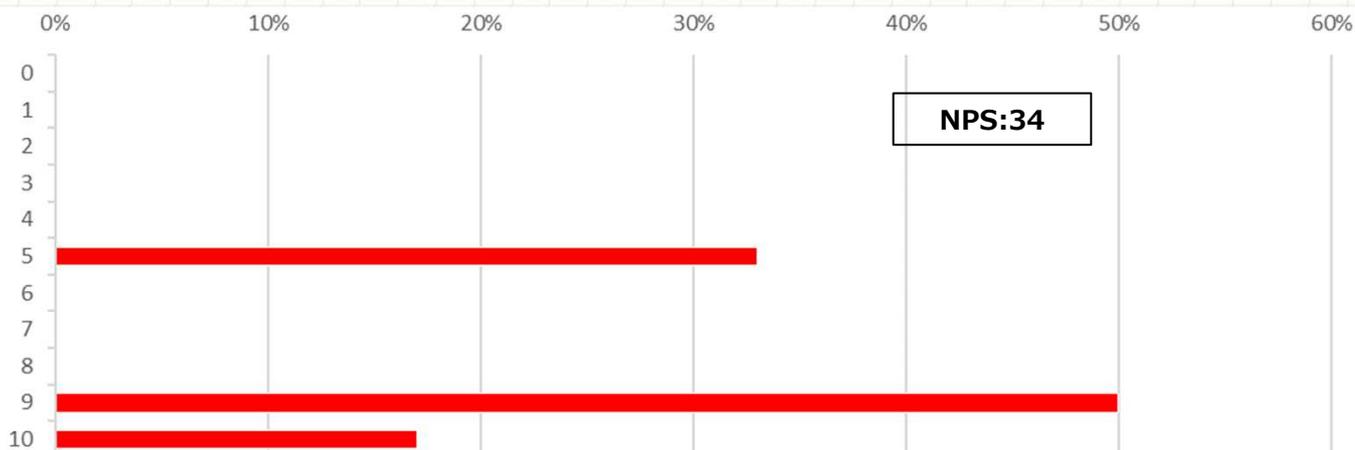


- ✓ 講師の阪井先生と直にお話できて有意義でした！
- ✓ 坂井先生の話は大変勉強になりました
- ✓ 久しぶりにCS研に参加させて頂き勉強になりました。また次回もよろしくお願いたします。
- ✓ コロナの影響でオンライン授業へ大幅シフトした結果、教員様さんがどのような工夫をしているかを知ることが出来たため。
- ✓ 阪井先生の講演が新しい視点での見地で有益だったから。
- ✓ 期待通り、勉強になった。
- ✓ 講演内容が素晴らしく、自学でも教育にも参考になった。また、オンライン開催であったが、グループワークもでき情報交換が可能であったため。
- ✓ 現場の職員様より色々なお話を頂き、参考になりました。
- ✓ 大学の現場の状況が生々しく伝わったため。

■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(お薦めしない)～10(お薦めしたい) またその理由をお聞かせください

【NPS (Net Promotor Score)とは】

測定方法は推奨者(10,9点)、中立者(8,7点)、批判者(6点以下)に分け、回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引いた値がNPSのスコアとなります。結果としては数字が大きいほど良いイベントと評価されます。



- ✓ 他大学のようすをお聞きできた。
- ✓ 教員にはすすめたいですが。
- ✓ 分科会が提示して下さるテーマに興味があるから
- ✓ 機会をみて伝えたい。

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- ✓ 評価に対する考え方が参考になりました。
- ✓ 評価の仕方
- ✓ 昨年までと、オンライン授業に転換せざるを得なかった今年で成績の指標や判断基準も変わってくると感じました。
- ✓ 認識が変われば、知識は後からついてくる。と考え、創造的な思考などを促すような授業かどうか評価されている先生の実態が分かった。
- ✓ オンライン授業におけるコミュニケーションでの、身体性の欠如を補う工夫。
- ✓ テーマに関して大学の現場の状況を効率よく収集できるため

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ 大学で一番困っている課題
- ✓ 変容する社会についてゆける人・いけない人の差はどこで生まれるのか？
- ✓ コロナの影響により、これまでと何が変わったのか、良くなったこと、悪くなった事などをテーマにした内容に参加したい。
- ✓ オンライン授業に有効な新たなシステム等（たとえば、仮想教室でアバターとして授業に参加できるシステム）の紹介。
- ✓ DX, 少子化に向けた取り組み

4. 参加校 [9校12名] ・参加企業[5社18名] ・参加総数[30名]

追手門学院大【1】 関東学院大学【1】 共立女子大学【3】 順天堂大学【1】	聖学院大学【1】 清泉女子大学【1】 明治大学【1】 龍谷大学【2】 流通経済大学【1】	株式会社インフィテック【1】 株式会社システムデザイン【1】 ファーストスタープロジェクト【1】	株式会社富士通アドバンスエンジニアリング【1】 富士通株式会社【14】
---	--	--	--

5. 所感

「オンライン授業におけるアクティブラーニングと成績評価」をテーマとして阪井先生（明治大学 法学部 教授/私立大学 キャンパスシステム研究会会長）よりテーマに関する実践事例のご紹介を頂きました。

阪井先生のご講演後に、教育システム分科会では初のグループセッションを持ち、各グループにわかれ、3回のグループ討議を行いました。自己紹介を行い打ち解けたところで、先生のご講演に対して気づいた点、疑問に思った点、各校の実情などを話し合いました。

阪井先生のオンライン授業の実践方法が大変きめ細かで、対面でないにもかかわらず、様々なICTを利用して学生を引き込む手法が素晴らしく、参加の皆さんからも様々な質問が飛び交いました。また評価についても、新しい視点でのあることも多く、「新しい気づき」が多かったようです。

今回、グループセッションによりいつものCS研に少し戻ることができたように思います。一方で、アンケートにもありましたが、時間が足りない部分も多く感じました。また、ICT環境により、うまくグループにわかれることができず、焦る場面もありましたが、これが今の大学の授業で起こっているのだなと実感した次第です。

引き続き教育システム分科会では、皆さんと課題や悩みの情報共有をしながらコロナ禍に立ち向かうべく会を進めてまいります。積極的なご参加をお待ちしています。（教育システム分科会 幹事・運営委員一同）